

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成28年10月29日（土） 14時～16時10分
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 20名
- 出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長
渡辺環境経済部長、杉山環境経済部参与、大谷建設部長、渡辺都市部長、
他12名
- 懇談要旨

市民：①人件費の問題で前回も申し上げたが、正規職員の平均給与が民間より4割高い。3割は下げたらどうかと提案した。総務部長は、私達は5年間に少しずつ下げてきたと言っていたが、前の資料では4年間で2.7%さげているのはわかっている。年間3%は下げられるのではないか。また、平成27年度決算で約5千万円増えているので、その2点を聞きたい。

②以前、私は天王台駅まで阪東バスを利用していた。また、あびバスも走っているが、成田線の以北になっているので、高齢者用にフリーパスを出してもらいたい。阪東バスは天王台駅に何本も出ているので、阪東バスに市から援助をして、75歳以上の方について、フリーパスを出していただきたい。私の試算では、年間2千万円くらいになるがそのくらい援助できるのではないか。

③中里地区への事業地には、消防署だけが行くわけですが、若草幼稚園の周りでは何㎡あるのかわからないが幼稚園全部が必要なのか。保育園や行政サービスセンターは現在の所に残るが、市議会ではほかに候補地を出している。また、消防署の移転先はNECの南側が良いのでは。中里地区では北側に踏切があるので、緊急の出動に今までよりも5分くらい遅れるのではないか。

④湖北台の中心がシャッター通りになっているので、例えば図書館などで借り上げたら良いのではないか。

総務部長：①人件費についてのご質問ですが、職員の給与は、議会の決議を得た給与条例や関係規則に基づいて支給しています。民間賃金との比較では、毎年国家公務員給与と民間事業所の賃金との比較に基づく人事院勧告があり、市もこれらをもとに、議会の議決を得て給与の改定を行っています。民間の景気低迷期では給

与の引下げも行ってきました。決して公務員だけで決めているわけではありません。

また、平成27年度の決算で5千万円増えたのは、人件費の内訳として常勤職員と非常勤職員を併せて人件費としていますが、その中で5千万円上がった主な要因は、あびっ子クラブ等を充実させることによる人員確保を行ったため、26年と27年度の人員比較で、非常勤である嘱託職員を約15名増員したことによるものです。

給与を3%は下げられるについては、平成22年度から市独自の特例措置として一律で2%給与を引き下げていました。現在は、若手職員は2%、管理職は3.5%給料削減し、平成28年度も実施しています。現地点では、平成29年度も引き続き実施して行かざるを得ない状況であると認識しています。

毎年市の給与水準はどうなっているのかについては、給与水準の一つの指数となるラスパイレス指数を検証しています。ラスパイレス指数は、国家公務員の給料を100とした場合の国と市との数値比較になります。平成26年度までは我孫子市独自の給与表でしたが、ラスパイレス指数が高い要因ともなっていたことから、職員の給料を平均約4%引き下げたうえで、平成27年度より国家公務員の給料表に移行しました。その結果、ラスパイレス指数は、26年度102.7であったのが、27年度101.7、28年度は今のところ前年よりさらに下がると予想しています。今後も引き続き、毎年のラスパイレス指数を見極めて行くとともに、給与水準の適正化に努めていきます。

市長:①市としては、人勧にしたがって、職員の給与を下げたり上げたりしています。ここ数年は、上げています。これは、人勧を尊重しているためです。

職員の給与が4割高いと言う話しですが、27年度のラスパイレスが101.7%ですので1.7%の増です。4割ですとラスパイレスが140%になってしまいますのでそれはないです。国家公務員の100を目標にしています。人件費が増になっているのは、職員の数をどうしても増やさないといけない時があります。例えば震災で毎年東北に2人派遣しています。生活保護担当も増をしています。あびっ子クラブを増やしたり、今年の10月からパスポートでも増員をしています。

②阪東バスへの補助についてですが、高齢者へのバスのフリーパス事業は実施

していません。障害を持った方へは、福祉タクシーの初乗り運賃を補助しています。高齢者のみなさんは、交通事故が多いので警察でも免許証の返納をお願いしている。75歳以上については、1万7千人いますのでフリーパスではなく、その他で検討していきます。

③中里地区への移動については、基本的には若草幼稚園の場所は都市計画道路が通りますので、それを中心に若草幼稚園の敷地とプラスアルファを消防署用地と訓練用地として確保する予定です。その中で議会として反対している事については認識をしていません。

議会では消防署の候補地についての変更についても私は承知していません。2小の側の候補地にしてしまうと新木地区が手薄になってしまうので、今の場所より東側に造る予定です。2小の側は最初に案がなくなった地区です。消防署の候補地は、現在の場所より西には行かないで東側の中里地区で検討していますと説明しました。

④シャッター通りに図書館を借り上げたらどうかについて、図書館は現在の場所から遠くなる方、近くになる方で意見が違ってきますので、移設場所は白紙です。

市民：①ゴミの問題で私の自治会では当番を決めて実施しているが、資源ゴミの日に合わないゴミを出す人がいる。聞いてみるとゴミのカレンダーや冊子が届いてない人がいます。特に新しく家を建てた住人やアパートの住人の人など（新しくアパートの住人になった方や新しく我孫子市に転入してきた方など）に届いてないのではないかと。それが自治会の方の負担になるので検討をお願いします。

②我孫子市は近隣市と文化交流を結んでいないので、ぜひお願いしたい。取手市とは、スポーツ交流を結んでいますが文化交流は行っていないので検討をお願いします。

環境経済部参与：①資源回収の冊子やチラシが届いてなくて、当番の方の負担になっている事については、ゴミの資源の分け方出し方は、各世帯の方に届くようにしているつもりですが、転入したばかりの方などに届いていない場合については、各地区ごとにカレンダーを配っていますし、転入してきた方には、市民課の窓口でカレンダーを配っています。

市民：アパートの住人や不動産屋、戸建ての販売業者についてはどうか。

環境経済部参与：新築アパートや戸建ての住宅を建設する場合は、必ず業者とクリーンセンターがゴミの集積所の設置などで協議をすることが義務づけられていますので、その時資料等を届けるよう指導します。

市長：①ゴミの資料については 不動産屋と連携を取る必要があります。入居が先で住民登録は後になる。また、大学生は住民登録をしない人が多いので、資料等は手に入らないので不動産屋に協力を要請していただきクリーンセンターと連携を取らせていただきます。

②近隣市とは文化的な交流については実施していません。取手市だけではなく柏市や流山市、松戸市も文化的な交流は実施していませんが、今後検討する余地があると思います。

市民：2020年、平成32年に我孫子市は、50周年になりますが2点提言したい。

①湖北、新木、布佐地区を連動して我孫子市の東部地区で総合開発をお願いしたい。气象台公園内に5階建ての市民会館を造ってほしい。

②湖北、新木、布佐は非常にさびれているので、老人の街になりつつあります。若者と子どもたちを増やすための施策を打ち出してもらいたい。布佐、新木、湖北には土地がありますので、新市民を2万人以上受け入れられます。空き地や空き家を利用しながら条件は中学生以下の少子化を解消する我孫子市の東部総合開発をお願いします。

都市部長：气象台記念公園に市民会館を造る事については、市でも有数の広い公園として将来的にも公園として活用していきます。災害が起きた時にオープンスペースとして使用するとか、何かあった時に活用していきます。

市長：①市民会館については、以前に調査をし検討した結果、場所は決まっています。残念ながら市民会館を造るのであれば、千葉県から昨年いただいています水の館の側の高野山地区に市民会館を造ります。水の館を千葉県から頂く前に高野山地区が第1位として決まっていますので、水の館の側に造るのが本筋です。

②東側に若い人を増やす政策については、我孫子市内に定住してもらうため3年前から住宅取得補助金制度を実施しています。その結果400世帯を超えています。東側に厚く補助を3年間してきましたが、これから先若い世代を増やしていくために49歳以下から39歳以下について見直しをして厚くしていきます。また、他の市で生まれた方が小さいうちに我孫子市へ転入してきて優遇してい

きます。この地域には調整区域が多いので、千葉県では調整区域から市街化区域に変更は現在では難しいので、空き家については、リフォームして住んでもらう事や中古住宅を買うなどこれからも優遇していきます。

市民：湖北、新木、布佐の東部地区の総合的開発をしてもらいたい。人口ピラミットの分析をもう一度見直しをお願いします。

市長：この区域は調整区域がいっぱいあります。

市民：10月の終わりにノーベル賞の発表がありました。我孫子市からノーベル賞もらえるような人を出したいと思ったのがきっかけです。今月末に文部科学省より無利子の奨学金を条件を緩めて実施しようとしている。我孫子市のホームページを見ると修学資金貸付制度があります。利子は取らないが元金は戻してください。大学生でも月2万円くらい貸付する。それから、政府では来年度から給付型奨学金を実施するが、お金は返さなくてよい制度です。東京都でも給付型奨学金を実施する。我孫子市も先行して給付型貸付制度を考えてもらいたい。月10万円くらい、本人の希望と先生3人以上、校長の推薦を付けて市長に申請する。お金はどこから出すのかは、議員定数を24名から20名に減らすことで財源を確保する。

また、先ほど市長より井上邸の家を改造する話を聞きましたが、大変良いことだと思います。建物だけではなく、その裏庭に広がっている水田についても、みんなに知ってもらいたいと思います。そこで、この奨学金を血脇守之助と名づけたら良いのではないか。アイデアですので返事はいりません。

市長：現在、我孫子市では子ども達の奨学金制度はないです。国から色々な奨学金制度の検討が始まっていますが、国の方を見ながら検討していきます。月10万円で年120万円、一番多い時は4人として一千万円近くかかるわけですが、市で一人しか出さないで良いのかは問題ですが、教育委員会で一人を選ぶのは難しいです。我孫子市の子ども達は文系に進む子が多いので市ではアイパットを導入して理数教育に力を入れています。英語教育もコンピューター教育も必要です。必ず将来必要になる英語と理数教育、コンピューター教育、これは変更していきたい。

私は理数教育に力を入れていくために、小中一貫教育を含めて進めています。実際に中学校の理科の先生が小学校に行って教えていますが、小学校の先生が中学校の理数科をもうちょっと踏まえて小学校で算数を教えてもらいたいです。

井上邸については、我孫子市の歴史や文化を伝えていくのに良い教材になります。子ども達はその地域にどうしてこういう人達が来て手賀沼の干拓がどのように進めてきたのか、江戸幕府がどうしたのか。明治の頃はどうかかなどを含めて良い材料ではないかと思います。子ども達の地域の宝として井上邸だけではなく杉村邸など市には色々な物が残っていますので、少しずつ「故郷教育」を進めて行きます。

市民：①昨年の今ごろ、市内に地域会議を設立するようと言う話があったが、現状はどうか。当時は熱心に市から働きかけがあったが、市全体の設立状況を教えていただきたい。

②湖北地区の公共施設の移転についてです。都市計画道路を早く整備してもらいたい。救急車や消防車を安全に通すために現在の見通しを聞かせてもらいたい。

③我孫子市の歴史博物館で集約した展示物を飾るため建物を造ってもらいたい。

市民生活部長：①地域会議は、平成25年度に策定した地域コミュニティ活性化基本方針に位置付けられたものです。市内11のエリアで進める計画ですが、初めにモデル地区として久寺家地区で実施しています。27年度には天王台北と南地区に設立しました。新木地区でも進めています。色々なやり方がありますが、基本的には、まちづくり協議会が事務局として中心になり、地区社協、子ども会、NPO、自治会、民生員、市民活動団体などが参加し地域で何が問題かを話し合いをしています。久寺家地区では、高齢者の支援をどうしようかとコミュニティカフェを作って運営したり、地域版の便利帳を作ったり、子どもと触れ合える場所を作る活動をしています。天王台南は、環境問題としてカラスが多いので被害に遭わないように、ゴミの出し方を地域で考えています。天王台北は、自治会が中心ですが、学校と連携して防災の取り組みをしています。新木は、具体的には活動していませんが、高齢者問題で、地域で何が出来るかを検討しています。今年是我孫子北地区で地域会議を立ち上げるため、まちづくり協議会と市とで検討をしています。また、湖北台地区とも何回かまちづくり協議会と話をしています。我孫子市としては平成30年度までには市内11のエリアで地域会議を整備していきたいと考えてます。

市長：②都市計画道路3・4・10号線については、若草幼稚園の敷地のど真ん中を

通るが地主の承諾がやっともらえた。移転に伴う調査が必要です。計画道路で一番難しいのは用地交渉です。うまく承諾をもらってから、工事が実施できるので4・5年位かかります。356号線のバイパスも残り750mになりましたので千葉県と交渉をつづけていきます。

③歴史博物館の単独としての予定は無いが、市民会館との複合化を考えている。建物の周辺も考えてエリアとして活用できればよいが用地の問題もあります。

市民：スポーツ振興など、マスコミを通じて宣伝が必要ではないか。なぜ、オリンピックの候補地として手賀沼が出てこなかったのか。我孫子の名前を売るチャンスだと思う。

市長：我孫子市としては、オリンピックに向けてキャンプ地の誘致を考えている。市としては女子ソフトボールを誘致したいが、再来年に女子ソフトボールの世界大会が千葉県で行われますので、市としてはキャンプ地として台湾を誘致している。その他では、ゴルフの会場は埼玉県の霞ヶ関カントリークラブで開催が決まっていますので、我孫子ゴルフ場を練習場として使えないか相談をしている。その他では柔道については、キューバのチームが加納治五郎の別荘を見たいと我孫子市に来ました。女子チームについて我孫子市に毎年来たいと言っていますがオリンピック選手の練習相手や練習会場があるかどうか、など課題があります。聖火リレーについては、是非聖火を通したい。5年前の被災地の布佐地区を通るルートで誘致したい。

手賀沼をボート競技の候補地については、前回の東京オリンピックで戸田市と競争して戸田市に負けたと言う経緯があった。当時と一番違うのは手賀沼にはヘドロが溜まっていること。2Kmの直線が必要なことなど、なかなか難しい状況ですので手を上げづらいです。

市民：給与の件で再度質問します。平成27年11月16日号の広報で、2014年度の市の職員一人当たりの給与費が675万6千円で、国税庁の統計調査で正規社員の平均給与は478万円です。200万円の差があるので140%ですよ。

また、柏市は658万円で柏市より17万円高いです。そのような状態でよいのか。機会があれば議会にも言います。

もう一つは、新しい消防署の予定地から踏み切りを渡っていくので大丈夫か。

総務部長：国税庁の調査について、どのような比較をしたのかわからないですが、国

家公務員と民間の50人以上の会社との比較で差が出た場合に、人事院勧告に基づき、給与を上げたり下げたりしています。民間と200万円の差はないと認識しています。差は1.7%です。柏市より17万円高いのは職員の平均年齢が我孫子市44.9歳、柏市42.6歳で約2歳我孫子市の方が高いことも影響していると考えられますので、単純に比較はできません。もう一つにいわゆる残業を行った場合の時間外手当があります。我孫子市は少数精鋭で仕事をしているので、時間外手当が柏市よりも多い可能性もあります。柏市の時間外手当の状況も見てみる必要もあると思います。

先ほども話しましたが、今も28年度2%から3.5%の減額処置を実施しています。一般会計で約1億3千万円の削減をし、人件費の抑制を行っています。その上で職員の給与水準の適正化を毎年実施していますので、27年度から国家公務員の給料表に移行し、大幅な見直しを行いましたので、今後も推移を見て行きたいと思います。給与水準が高くなれば市民の方に説明責任がありますので、そこはしっかり取組んでいきます。

市長：我孫子市の職員は柏市の職員より平均年齢が高いです。部長一人が退職すると若い職員を二人採用してもお釣りがきます。市民ニーズに対応した職員数を確保しながら、総人件費を抑える方策は今までも実施してきました。その中で優秀な職員を採用するには、周りより少し高くしないと来ないです。しかし、高すぎる給与を払うほど我孫子市は余裕ありません。バランスを取りながら職員を採用します。その中で少しずつ、ラスパイレス指数を100に近づけたいですが、給与が安くて就職しても結婚も出来ないのではどうかと思います。

また、民間の保育園の給与は出せませんが、民間の保育園に対して家賃補助をすることで職員を確保して待機児童ゼロを維持しています。市内で働いてくれるよう何らかの形で補助していき、周りを見ながら今の状況に合った給与形態になっているか、給与形態が合わなければそれを補助するのが仕事ですので、職員だけではなく民間で市内に働く職員が不自由しないように手当をしていきます。

消防署の予定地から石井踏み切りを渡るのはどうかについては、消防車も救急車も問題なく通っています。市にはいっぱい踏切があり、現在も通っていますので、問題はありません。